

素早い操作を身につける

作業効率を高めるための定番技は、ショートカットキー。OS やソフトのメニューからたどって行う動作を、複数のキーを同時に押すことで実現する機能です。

OS やソフトに独自のショートカットキーが用意されているが、共通のショートカットキーも少なくない(図1)。

皆さん方は、コピーやペーストといった「基本中の基本」は既に使いこなしておられると思います。これらの次の段階として覚えておきたいのが、[Ctrl]キーに [A] [Z] [Y] をそれぞれ組み合わせる技です。例えば [Ctrl]+[A] では、現在開いているウィンドウに置かれているファイルやフォルダーを一度に指定できる。

ファイル操作や文字入力などを誤ったときには、[Ctrl]+[Z] を押せば、その操作や入力を取り消せる。

この技と組み合わせ覚えてほしいのが [Ctrl]+[Y] 。[Ctrl] + [Z] で元に戻した操作や入力をやり直すときに便利です。

[Windows] キーや [Alt] キーを使うショートカットキーもあります(図2)。例えば、開いているウィンを全て閉じて、デスクトップのアイコンを表示させたい場合には、[Windows]+[D] が有用です。



図1 [Ctrl] キーを使ったショートカットキーの例。ここで挙げたショートカットキーは、多くのソフトが対応している

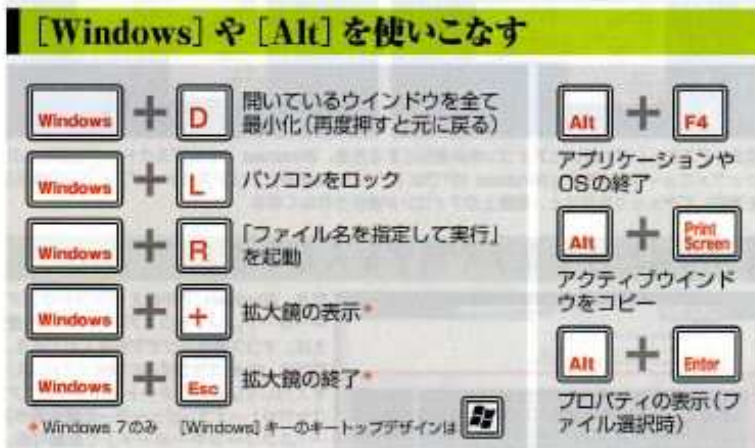


図2 [Windows] キーや [Alt] キーを使ったショートカットキーの例